

『あんまぐつついて歩くな
周り見られてんだろっ』

『え〜Wいいじゃん
俺たちセフレなんだからさ〜♡』

『ちよっと!!
外でそういうこと言うなっ!』

このクソキモおやじと
セフレになつてから…

好き勝手なタイミングで
呼び出されてはセックス…

ただ…私はそれに抗えない

『全く…相変わらず
口答えが多いなああきらは…』

これは今日ちよつとキツめに
してあげないとだね♡

楽しみだね♡あきら♡

『…全然楽しみなんかじゃ
ねえよ…クソっ』

なぜならコイツは…

私の躰の事を
私より良く
知っているから♡

『おっおっお
いつでるう♡♡♡
いつでるからやめてっ
一回やめてえええ♡♡♡』

おっ

反省中

おっおっお
いつでるう♡♡♡
いつでるからやめてっ
一回やめてえええ♡♡♡

『はははWあきらは
おまんこで理解らせないと
伝わらないからね♡
ちやくんとごめんなさい
出来るまで止めないからね?
言える?ほら♡
ごめんなさい♡』

『おっ…おっお♡
ごめんなさいいっつ♡
ごめんなさいいっつ♡
ごめんなさいいっつ♡』
『はははW雑魚マン潰して欲しくて
わざとやってたんでしょ?W
お望み通り壊れるまで
やってあげるからね♡』

※この物語はフィクションであり、
実在の人物・団体とは一切関係ありません。



「あ〜あ〜自滅しちゃったWWW
腰ガクガクして体勢
戻せないね〜♡」



「ははW逃げない逃げないW
ちゃんと立ってないと
子宮口直撃しちゃうよ〜?」

「そ〜おおっ♡
そこぽっかあ狙うなああ♡
くっ…うう♡」



「敗北アクメ上手上手♡
これからはおじさんの言う事は
何でも聞けるマヅメスに
してあげるからね♡
理解った〜?」

私が歯向かえば歯向かうほど
コイツの責めは容赦なくなっていく
生理的にも受け付けない
不細工男なのに…
私の軀は意に反して
絶頂を繰り返す

それは今まで…
コスイベントでも
オナニでも
味わったことがないような多好感
私はこの男との関係から
抜け出せないでいた

「はいっじゃあ元気よく
言ってっらん♡」

「はい…動画…
ご覧いただいで…
ありがとうございますっ♡
私…あきはあ…」

「ご主人様にお仕えする
立派なまつ…マソメスに
なる為に今日は…お外で
調教して頂いてますっ♡」

「良い子だねあきは♡
ご褒美にホラ
大好きな玩具あげるよ
コレで遊んでっ覧♡」

あはっ♡



「こいつの趣味は
モノにしたレイヤーの娘達に
自分好みの衣装を着させ
その様子を動画サイトで
売りさばくこと
「そっそう♡よく見えるように
ガニ股でね♡
おっ偉い偉い♡」

「今日もコイツに
変態的な行為をさせられて
動画サイトで販売される

完全にコイツの
体のいい貢ぎオナホ状態…♡

「いきそっういきそっう♡
ちゃんと練習通り
できるかな？」



あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡

あはっ♡



「マゾメさん、お久しぶりです！」

「はい！上手！上手！
公開マゾアケメ
気持ち良いね♡
場所変えてもっかい
やろうか♡」

女の子失格の
屋外での公開ガニ股オナニーも…
この男に命令されれば
平気で出来るようになってしまった

「じゃあ挨拶から
やってみよう♡」

「あっ！主人様っ」



「本日は一日…あきらを
お散歩に連れて行っていただき
ありがとうございます！」

「こっ…これから…私の
かっ…カラダでえ
ご主人様に…ご奉仕をさせて
いただきますので…」

「よっ…よろしく…
お願いいたします…」

「うっ…
悪く無いけどもっ
下品に言えなきやダメだね♡
見てる人もそれじゃあ
全然コーン出来ないでしょ？」

あきららはドが付く
マゾメさんなんだからさ♡
もっと気合入れて
チン媚びしないとね♡」

「ほっやり直しっ」

「えっ？」



「わっ私のおおお♡
ドスケベに育ったメスの躰でえ
精一杯の奉仕させて頂きますのでえ♡」

「主人様とせつくすう…♡
生ハメ交尾い♡させて下さい♡♡♡」

「はははWなんんだW
ちやんどできるじゃんW
踏まれるの待ちだった?」

「恥をかかされ踏まれて…
罵られてそんな風に
蔑まされれば
されるほど」

「私の下半身は
疼いて疼いて仕方なかった
それも全部コイツの」

「いいよ♡おじさんちんぽ
恵んであげる♡
跨れ」



「ははは」

「おっ」

「このちんぽの所為♡」

「ほくらもつと早く
乳も尻もブルンブルン
揺らして全身でチンポに
媚びろよ」



「もっ申し訳
ございません…
でもおお」

「おっおちんぽおっきすぎて
これ以上はっ♡♡
ううう♡♡」

「別の体位がいいってこと? W
生意気だな♡あきは♡
いいよ♡あきらがおねだりした
体位でしてあげるよ♡ただし」



「マソメスはちんぽ使ってもらおう
立場なんだからw
理解った?」

「理解ったなら
まんこ喰いしばれっ
精液三滴も残さず
子宮に絞り取るんだぞ」

「そろそろイキそうだよっ
あきらっ!!」

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

あ
あ

中出しされるときは
笑顔でダブルピース♥
これがおじさま専属マソメスの
お作法♥

ニギ
ニギ

ドキ
ドキ

あ
あ

ド
ド

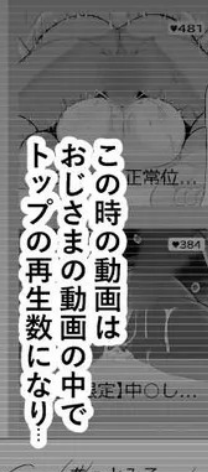
「ふうっ♡♡♡
すっきりしたあ♡
ははwザーメン最奥に食らって
あきらも深いイキしちゃった?w」

「素直なマソメスにはこれからも
どんどん中出し用で使って
上げるからね♡」

「つよいオス様に
中出しキメていただけのが…
女の子にとっての一番の幸せ…♥」

おじさまが
イキそうになったら
中出し懇願っ♥

あ
あ



この時の動画は
おじさまの動画の中で
トップの再生数になり！
おじさまに頂けるお金も
数十倍に跳ね上がった



おじさまに媚びて
ご奉仕して！
無様アクメを
全世界に晒せば
お金が稼げる時代！

私は仕事を止めて今後は
同人AVレイヤーとして
生きていくことを決めた



「はははWあきらの♡
久しぶりだからって
がつつきすぎだぞ」
中に出す分が
なくなっちゃうだろ？」

「ほ♡しゃあ
カメラに向かって
ご挨拶してごらん♡」

「ほ♡い♡
おじさまおちんぼ♡奉仕隊
隊長のあきらで♡す♡」

「今日は久々の出番なので♡
皆様にも♡おじさまにも♡
ご満足いただけるように♡」

「マゾメスあきら♡全身使って
おちんぼ♡奉仕頑張りま♡す♡」

難しいことは
何も考えなくて良い
仕事もせず
自分を支配して下さい
だ♡い♡好♡きなおちんぼ様の
為だけに生きる
マゾメスに成れて！

私は幸せ♡

